

旭志 中央支所レポート 発見! 27



高品質な飼料製造で
乳牛の健康維持と
おいしい牛乳を!



今月のリポーター
上月 良です。

旭志中央支所金融共済課LA (ライフアドバイザー)として、組合員・JA利用者様の生活にお役に立つご提案、ご相談をお受けしています。本年3月までは畜産部の酪農指導員として携わっており、全国に誇れる「アドバンス」の紹介をしたいと思います。

作業効率と飼料コスト削減を実現



牛の給食センター「アドバンス」

平成19年4月、旭志地区20戸の酪農家が集結してTMRセンターとして誕生した株式会社です。TMR(Total mixed rations)とは、必要な栄養素を含んだ混合飼料のことです。(株)アドバンスでは、飼料用トウモロコシをサイレージに調整して、豆腐粕や醤油粕などのエコフィードも活用した飼料設計を行っています。作業効率、高品質な飼料を製造することを目的に設立された会社です。

飼料用トウモロコシは、管内で作付け(年間約300ha)し、飼料コスト削減につながっています。普段の草刈りや堆肥散布などの圃場管理は会員が行い、収穫作業は管内のコントラクター利用組合に委託しています。



製造班長の松本さん



育成班長の石本さん

地域の畜産事業にも貢献

平成28年には育成預託牛舎を整備し、会員の育成牛を預託しています。その育成牛には黒毛和牛の受精卵を移植し、CBS事業と連携し和牛子牛生産にも取り組んでいます。地域の畜産事業には必要不可欠な組織であり、その功績が称えられ、令和4年度には農林水産祭天皇杯を受賞しています。



天皇杯受賞



育成牛舎

まとめ

近年、後継者不足や飼料高騰、農地問題など、さまざまな事情で農業情勢は大変厳しい状況に置かれています。やむなく離農される方も増えています。アドバンスにおいても企業進出による圃場の減少や、その他いろいろな外的要因で年々問題や課題も多くなっています。JAは、今まで以上に農家に寄り添い続ける必要があると思います。私もJA職員として、組合員・利用者様に寄り添い、少しでも力になれるように努力していきたいと思っています。